

Vol VII. No 448. THE SHANGHAI JAPANESE WEEKLY

▲二十一條改廢に就て▼

詩に云はれ、讒人極まる罔し、交々四國を亂す、是れ正に讒置なるを流布する勢力を以て、國際間に謠言を散布し、舌筆力をもて、國際情を挑撥せる支那は、十數年來の言議行動を能く表示せる通例語なり、讒人の首領袁世凱自ら斃れ、馮段の爭執あり、此爭執に乘じ漁父の利を得たる徐世昌總統の四位に即きし來の支那上下は、一層四國を亂すの度を深ふし、日本を慰然認むべからして、其人情に近づかず、舉措や、眞に呆然たり

夫れ太平洋會議に對し、最初支那上下が大に期待せる所あり、交々四國を亂すの時機到れりとせる事實は、該會發起の消息ありて以來今に至る支那の態度與論能く之を證せり、然るに我帝國が英米佛の諒解を以て、太平洋會議前に於て直接交渉すべく、大に讓步せる青島還附の提議を、又も國際案を支那政府に交付するや、又も國際の喧囂を招き、上下の態度は支離滅裂、殊に親米以て主權に與からん

さする研究舊交通系等は俄然太平洋會の特むべからざるを悲觀し、否
な恐慌せざるを得ざる。されど、
しと主張するものを攻撃すること甚
だしけれども、彼等が直接交渉反對
の理由とせる唯一の對獨條約未調印
の言は、已に支獨條約成り、還附の
能力を失せりと聲明せるを以て、外
交を處理すべき道に副はずして、攻
撃の効力自然少なくなりし矢先き、
太平洋會議々事日程の通知に接し、支
那の地位が遂に西北利亞及委任統治
諸島と同列に入れられしとの説あら
や、彼等の悲觀と恐慌の度は更らに
一層甚しく、彼等が嘗つてウエル
サイユ會議前に於て活躍し氣配と
今日の太平洋會議に對するソレとは
同日に語るべからざることとなり
此に於て直接交渉主張派たる舊政學
會の機關紙に張るは意義を深くし、
同紙は我日本に於ける二十一個改
廢論の喧しきと相照應して、専ら此
事を以て直接交渉に應ずるの機會到
れしとの旨を德意するに至りし

曰く國民の速かに解せんことを欲するものは
日本の十二個條約にあらすや、最も危懼する
者は各の共同管理にあらずや、夫れ十一個
條約上の問題ならん、何には既に歐戰の
席上干渉を蒙む、即ち吾邦は何を以て歐戰の
席に向つて提議せざる。況んや萬國の太平洋
會議に際し、近時已に我が萬國の曲義あら
ざるを知らず日本に於て、何を以て希望を
開かざるを能はん日本に我の希望を述
べるべき成功の程度は知るべからざるとも、此
等の提議に日本未だ必ずしも應ぜざるは、限
りの之反應に過ぎぬ曲日本に在り、華
府特派員の發言、幾分その重量を加へん、
此れ極めて顯然なるや、所謂二十一個條約取
消と呼ぶも日本一切の既得權利を盡す非難の
語めあらす、此種極端の希望は實に日本
に對て宣戦し勝利を得た時の事件なり、我
国の主權ある所は國際公法第五號の範圍、英海
洋の南緯十度の改訂、樺太島の撤回、滿洲
灣、南滿鐵道を保護、韓、日建設費の償還の
撤消、山東鐵道對馬借款歩率の引き下げる生
上必すなり、或の時勢の變遷後當然の結果と
せばなり、東方人にして東方の運命を論ずる
べきものなる希望を以て、日本に提出すべし
太平洋會議前に加てて、日本の内閣は二十
一條を訂結せるの反對黨たり、吾人は日

本は原則上此提議を接收せずと信ず、吾
々のする所は其提議に既に最終的の改良
なり、何んぞ必ずしも之を捨てんや、何んぞ
すし専ら華府會議を頼みて以て之を判ぜ
や、況んや外交決意且つ吾等華府會議の把
なきに隨つて之を要求せや、然れば何んぞ
據日も因應するに於て要らざるや、何ん
に於て、同時に四國の關係を感受せる所
にして、同時に四國を亂す所を憂ふ
通系研究系等米國を騙らんとする宮崎
儀式政客の腹を括ぐりたる攻撃論論
云ふべし、其二十二個條廢止にて
は、既に條約ご成りしものと爲すべから
山東問題と混同して語りたまはざらん
ども、苟くも眞に東亞に於ける日古
親善の楔子となる把握あらば、吾人
も亦必すしも之に不賛成を言はざるべ
なり、即ち太平洋會議なるものが、支
那に對する存亡の關鍵ともなり、吉
那上下が大事は凡ら關する事を小にさ
る如く、太平洋會議を東西兩洋の
問題として自然日支が萬事直接に討
解を求めざるべからずと意識するに
至り、所謂新しきは書きを問はず、
遠き、近きを問はずの支那春秋時代
の意義ある古語を新たにせざるべ
きと覺悟するに至らば、吾人は二
十一個條の改廢も、時勢の變遷とし
て之に賛成するに吝かならざるもの
なり

然りと雖も支那の現状より云へば、
ば、國際間に認めれつゝある北京政
府が、果して日本と坦白に誠を開き
て公を布き得る能力を有するや、換
言せば外交上西南各方面及び直奉兩
派軍閥との完全なる諒解を得らるや
や、更に進んで云へば、外交關係
は却て北京政府と各方面の葛藤を
滋けし、交渉を官にすべからざる可
能性最も多しとせられざるや、吾人

得ざるなり、看よ支那現在の官僚式を
政客政黨の政客及容易に此等政客政
黨の具に供せらるる、青年學生は、當
時の段政府を倒す爲めには、露人鮮
人猶太人印度人等と結託し、新文化
運動と稱し、中外を跋扈き、事實支
那を赤化せしむることを敢へて言
ふの如き識人禍亂素因の除去せられざ
る間は、二十一個條の改廢を爲すも
又無效にして、却りて交四國を亂す
の大戦なる恐れあるなり、過去世界
の戰争は、單に兩國政府のみを以
て惹起せるものは少なく、大抵陰謀
を圖る秘密結社より出づるもの多
し、セルビアの結社は實に今回歐洲
大戰の禍根なりしにあらずや、故に
識人を一掃する能はずして支那の間
題解決を云爲するは恰かも瓦を磨き
て鏡を求むるに似たり、況んや二十
一個條撤廢をや、故に支那が山東問
題解決に應ずるご否ごに意を措くの
要更らになし、眉睫の間に在る太平
會議席上、必要あるは我議歩に
對して尙日つ支那は此くの如し、識
人横行之今日又之を奈何とす、べから
ず、彼等識人の交々四國を亂すべ
しを示し、世界平和の責任を負ふ日
英米佛四強國の彼等に亂れざるこ
を最大要諦とし専ら之に力を致し
べし、二十一個條撤廢の如きは、未
だ其時にあらざるなり、只だ原則と
して賛成するのみ、二十一個條撤廢
に没頭するは、支那言論界に致され
し何よりの鐵證にして、嘗に俗に所
謂御人善しの譏りを免れるのみに
あらずや、怨に報ゆるに直を以て
すべき我國格に關するの大問題也

(百川氏)

● 資本金 壹億圓拂込済

● 積立金 五千七百萬圓

● 支店

● 横濱

東京 神戸、大阪、名古屋、長崎、下関、横濱、里昂、漢堡、シドニー、紐育、桑港、ロサンゼルス、ジャヤトル、布哇、孟買、カルカッタ、蘭芳、新嘉坡、スラバヤ、ニホ、西貢、香港、青島、濟南、漢口、天津、北京、牛莊、大連、奉天、開原、長春、哈爾濱、瀋陽、德惠、布達匹ヤ、スラバヤ、ダニョス、アイレス、リオ、デジャチイロ

● 支店

● 横濱

東京 神戸、大阪、名古屋、長崎、下関、横濱、里昂、漢堡、シドニー、紐育、桑港、ロサンゼルス、ジャヤトル、布哇、孟買、カルカッタ、蘭芳、新嘉坡、スラバヤ、ニホ、西貢、香港、青島、濟南、漢口、天津、北京、牛莊、大連、奉天、開原、長春、哈爾濱、瀋陽、德惠、布達匹ヤ、スラバヤ、ダニョス、アイレス、リオ、デジャチイロ

● 支店

● 横濱

東京 神戸、大阪、名古屋、長崎、下関、横濱、里昂、漢堡、シドニー、紐育、桑港、ロサンゼルス、ジャヤトル、布哇、孟買、カルカッタ、蘭芳、新嘉坡、スラバヤ、ニホ、西貢、香港、青島、濟南、漢口、天津、北京、牛莊、大連、奉天、開原、長春、哈爾濱、瀋陽、德惠、布達匹ヤ、スラバヤ、ダニョス、アイレス、リオ、デジャチイロ

しと返電を與へたり、然れども浙江省の國是會議反對電報は漢口地方に於ける吳佩孚反對派に其鳴を與へ、同派新聞は何れも反對電報の全文を掲げたり、愈々以て國是會議の不人望を付度するに足るなり

言はせは直奉兩派の爭執を招くの傾向を生めり、現に十三日の北京電報は府院は吳佩孚等の九日附國は會議贊成電に對し意見一致せず、徐世昌は各督軍を招集し入京せしめて方法を講ずべしと主張せしも靳雲鵬は之を承認せりと傳ふるが如きに視て明か

なり、奉直兩派の戰機動くこの報も從つて頻りに傳へらるゝ所以茲に在るなり、蓋し斬は奉派にして徐は直派なればなり

太平洋會議準備

太平洋會議に對する準備は、其後特記すべきものなきが、目下山東問題直接交渉に集注されつゝあり、之と關係して問題となり居れる姿なり民間に於ては天津各團體は九日會合

- 一、二十一個條廢止
- 二、日本繼承の舊獨權利一切の返還
- 三、馬關條約に照らして朝鮮の完全なる獨立國家とす

四、兩國或は兩國以上に於て條約繼續の際支那の地位に渉るを得ず
五、支那は各強大國同様の待遇を與へらるゝ事

註文を東方通信社記者に語れり即
如く舊政學會館和亞細亞會の意見發表
されたり、而して廣東政府側の北京
太平洋代表否認ありし後は別に報道
なきが、今責任にある外交次長伍朝
樞の太平洋會議に際して日本に對す

米國大統領ハーディング氏が太平洋

會議主張してより關係列國は全力を盡して之が研究に努め居り蓋し此の會議の結果が大にして世界恒久の平和を齎し小にして極東の紛争を防ぎ得べしと思惟すればなり予は此の提議に對して满腔の熱誠を以て賛成し且つ此の會議が充分なる結果を得ん事を希望するものなり但し茲に前途に樂觀し難き問題のたわひあり難題とは何ぞや即ち日支問題なり換言せば日本當局が現世界の潮流と其の本國々民の心裏とを解し數十年來の對支政策を一變せしや否に在り頼れば二十一年國策要求高徐

順濟滿蒙諸鐵道の敷設權、滿蒙の森林採伐權、鑛山發掘權、其他數多の秘密條約は依然存在しつゝあるに非ずや苟しくも日本が現世界の新思想に

順應する大果斷と大決心を以て、飄然
之等の利權を一擲し以て世界恒久の
和平に貢獻せざる限り太平洋會議も
又ベルサイユ會議の轍を踏まん或ひ
は言ふ日本は維新以來人口過剩土地
狹隘にして原料缺乏せり故に此の二

難問題解決には勢ひ國外に發展を求めざる可らず此の説は至極尤もなりと雖も以上難問題を解決せん爲には侵略主義を改變せば其れにて充分なり蓋し侵略主義は我が國民の憤恨を

置が誤れる爲め其の商業は眞先に打撃を受け年來の日貨排斥となりて現はれ税關レポートの上に明かに輸入大激減を示せり要するに人類は日に進歩し世界の壟断に逆行すべからず

る時代となれり況んや人口の増加、原料の缺乏は列國共早晚遭遇せざる可らざる問題なり曩のウヰルソン氏の國際聯盟今次ハーディング氏の太平洋會議義れも以上二問題解決の要素

を含み居れり此の際日本當局が目前の利害を顧みず遠き慮りを爲し唯日

如き事なくば太平洋會議の難國問題に臨む
本國の利害打算を以て世界に臨む
を容易に解決し得べし余は貴通信社
を經て以上の議論を穩健なる日本輿
論界に問はんとす

尙は支那政府は外國駐在の公使より
太平洋會議に關し左の如き通牒に
接せりと解するを太平洋會議は主要
なる三問題即ち支那西北利委任統治
領土の問題を議すべし支那及び西伯
利に關する問題は更に二項目に分た
るべし即ち主要綱領及び其適用なり
此等は更に次の如く分たる

一、領土保全

- 二、行政權の支持
- 三、門戸開放に關する諸問題
- 四、讓與權利及び異例なる特權
- 五、支那鐵道（特に東支鐵道）

六、現在の諸條件及び如何なる範圍まで國際的義務が遂行せられつゝあるかの問題

支那政府は此報道を聞きて米國公使に向つて確實なるや否やを詰問し並に六項に就き支那に害あるに似たと聲明せりと傳へたる

更らに北方太平洋代表は正使を顔
外交總長とせるが隨行員は國務院は
楊熊祥屈映光を財政局は李景銘、賈
士毅朱祖鈺を、内務部は王揚楨を、
陸軍部は李鐘岳を海軍部は陳恩齋を

司法部は羅文幹を、稅務處は陳鑾を
交通部は王景春、胡祜泰、胡鴻猷を
外交部は張煜全、徐兆熊等二十人を
派することとなり、均しく二十日を
以て發表すべしと云ふ

● 兩湖善後問題

▲ 附四川軍の意氣 ▼

兩湖の妥協は吳趙の間に久しく策せられしが、岳州に於て訂結せる九条の木炭條約二端と發し、奪非還し

庚を湖南より放逐し得たる結果正式に吳と平和條約を訂結することゝな

●兩湖善後問題

▲附四川軍の意氣▼
兩湖の妥協は吳趙の間に久しく策
られしが、岳州に於て訂結せる九
木條約に端を發し、蔣軍實見

を湖南より放逐し得たる結果正式
吳と平和條約を訂結することゝな

が、其條件は三個條にして、一、岳州湘陰は北條の駐紮地とす但し其地方行政は猶湖南省に歸す二、趙恆惕の湖南總司令の名義を保留し依然湖南の軍務を管轄せしむ三、湖南省の自治を承認す其省内に事變發生し自省にて鎮定する事能はる時北條之を援助す

是なりと又吳と蕭耀南との湖北善後策は左の如く協定せりと云ふ

一、湖北守備として日南下中の近畿第三師の歩兵第一團騎兵一團及び第二十四師、第二十五師の全部

第十四混成旅、山東軍第一混成旅は暫く之を留め近畿第八混成旅、河南軍第一、第二混成旅は全部歸還せしむ

二、湖北從來の軍隊は全部之を整理し之を原駐地に歸還せしめ從來通り配置守備せしむ

三、今回の對南軍費約二百萬元は軍需課長をして之を清算せしめ北京に報告し國庫の支出を要求す

七、民間開闢の湖北問題に關する一

此夕民間傳の湖北問題に關する十
四日の漢口電報は左の如し
湖北省議會は十三日開會し蕭督軍
を歡迎し蕭は午後二時半入場したり
願くは督軍には故郷として特殊求治
心理を以て所關比の造成し予督軍

の心理を以て親藩批を造成し各省模範とせんことを演説せり、又省議員廖秩道等六十餘人の名を以て打電し劉承恩六大罪を訴へ罷斥を請ひ別に署名三十二法團あり、劉の十大罪を

し、老病頹唐、屢々醫するも効なし
別に賢能をいせんことを乞ふ、若し
相當の人物なければ蕭督軍に兼任せ
しめて可なり

月十三日の漢口電報は四川軍は十一日夜復た朱家坡より南沱溪を反攻し

別に支隊を出して黃牛山を襲ひ、雙方激戦十二日に至り、四川軍は依然敗勢を下りて退却なり但し張冲の部下は已に變態より下り上流の防務を甚だ緊まる、吳は前きに沙市に軍事會議を召集し張福來を總司令とする西部を平定せしむることせりと傳へ又吳は十三日宜昌に赴き、宜昌對岸及び背後に四川軍の依然として出沒するに就き、軍士を督勵することゝなれりと報せり

因みに本月七日發四川重慶發の通信によれば、其意氣當るべからざる

ものあり、即ち曰く四川軍は先鋒總司令潘正道第三枝隊蕭笙第二混成旅長張冲長江の南岸に第二師第三旅長費杜明北岸に沿うて下り八月二十七

日より進撃を開始せる捷報重慶に傳へられ此報と共に援鄂第二路は直に重慶にて編成され但懋辛總指揮となり何光烈後路預備隊指揮となり第一師の全部第六師の一部を以て第二路とし第九師全部を預備隊とし七日盛

又別信によれば重慶路の各汽船は昨今非常に増加し其數十三隻となすべからず猶第三路も近く編成されんとしつゝありと

る爲波浪兩岸に激し屢々民船を覆没し昨今の如きは軍隊輸送の民船を沈没せしめし爲め一般に外國人の横暴を憤慨し既に英米佛の船主に對し損害賠償を要求する人々が甚多し

害賠償を申込めるのみか各汽船に業
しホイコットを計畫し學生團又之に
賛成し國民外交援會を組織し大い
に排外熱を高めつゝありと
終りに十六號の漢口電報は四川軍
再攻撃を報じてゐる、即ち定例の

四川軍は陸續來り十三日朝又宜昌對岸に猛烈なる攻撃を施し大梁山一帯

支店 本店
 大原

 生綿綿棉
 糸布糸花
 取扱品
 江商株式會社
 上海四川北路五十五號
 電話 受配 支店 人許會
 三四四房
 三三三三

東京、横浜、神戸、
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷陀、紐育、オースチン、フオート
ウオーズ、ヤトシル

支店

十五號

〇三三

ス
ラ
バ
ヤ

資本金五千萬圓

拂込濟參千萬圓


 株式會社
三菱銀行
 支配人席
 中二九六六
 二九六四

本店 東京
支店 九之内 深川 日本橋
大坂 中ノ島船場 神戸

話 営業室 中三二三
買辦部 中三二四八

京都 名古屋 倫敦 紐育

の戦事は甚だ烈し、河西との交通は断絶し宜昌は三万包圍中に居り破軍は街市に落ち城内混亂し城門は三日未だ開かず、各領事館及外人大会社は皆外國軍艦隊戦隊の上陸保護し門首には機關銃を架して戒備し在留外人は領事館及軍艦に避難するもの甚だ多し、湖北援軍二十四師四十八旅八師六十九團及八師一旅は十三日夜到着し吳は楚振に乗じ杜は楚泰に乗じ十三日沙市より出發し十四日宜昌に着し指揮するに至り湖北軍始めて振ふ、十四日の慶戰甚だしく東山寺附近の四川軍を破れし、城門は十四日午始めて開かれ知事は湖北軍の戦勝を布告し以て人心を安んじ吳は正に總攻撃の布置を爲し四川軍亦陸續増援しつゝあれば日內將に更に烈しく戦事あらんと予想せらる、但懋辛の部下は審陽を攻めて張聯陞の爲め擊退せられたり、湖南唐仇兩代表は沙市に急行し吳と和議條約を交渉せり

●張耀曾の意見

●對太平洋會議
太平洋會議は支那存亡の係る所に在り、若し之れに對して高遠なる觀察と精密なる判斷とを以てせざれば重大なる遺憾を將來に遺すこと無しとす、吾人は本問題につき重要點を論ぜんとす

▲各國の態度 支那が同會議に參列するを得たるは、地理的關係に因つて米大統領の好意に出でたるものに、自力の能くせる所に非ず、故に支那はよく參列國の態度を知り、その主張、利害、折衝互讓の點を察して、然る後に方針を定むれば、恐らく杆格する所なきを得べし、故に會議に臨むに當り米國、英國、日本及び其他參列國の態度如何を究め、參列國間の親睦とその趨勢を察せざるべからず

▲會議の方式 會議の方式、議題等は開會前に協定すべきものか又會議は之れを公開すべきものか否か、ペルサイ會議の三頭會議の如きや、ならば我國に頗る不利なる關係あり、故に之れに對する反對方法と善後策とを豫め研究し置くべき要あり即ち同會議前議題の協定に就きて支那に不利なる時は如何にして反對すべきや若し遂に事實ならば如何にして對應すべきや、又同會議の公開程度は如何、若し三頭會議に類するものならば支那は之れに對し如何なる方策を執るべきや、豫め研究し置くべきなり

▲支那の態度 各國の態度判明せば支那はその對會議態度を決する要あり、人道精神に基き太平洋永久の平和を謀るには如何にすべきか、又支那の蒙れる侵害と束縛とを廢除するには如何に處すべきか、即ち支那は會議に對して如何なる態度を執るべきか研究決定し置くの要あるべし

▲支那の提案 支那の態度既に決定せば如何なる提案を爲すべきかは之れに依つて決すべき問題なるも、提案は原則案とすべきか抑々具體案とすべきか、之れ先決問題なるべし、即ち支那は會議の席上、先づ國際關係改造の原則を提出し、然る後之れが適要を以て支那の不利を除去すべきや、抑も支那の利害を侵害し世界の平和を危くするが如き事項の除去につき、最初より具體案を提出すべきや何れが有利なるか研究し置くの必要あり

▲原則案如何 提案は原則案を以て先ざれば、その原則は支那の利害について定むるか、それとも太平洋

全局の關係について定むるが、即ち支那國際關係の改造に關する原則を提出せんとせば、民族自決、海上の自由、人種平等、國際平等、外交の公開特種問題の廢止(以上は太平洋全局に關係す)特種利益と特殊勢力の廢止、領土主權侵害條約の撤銷、經濟的門戶開放機會均等、不平等條約の修正(以上は支那に關係す)等の研究を爲さばべからず

▲具體案如何 支那が若し具體案を提案するにせざればその範圍は如何、即ち具體的提案は重要なもの數項なるか、又は國權を侵害するものも全部なるが何れにしても左の八項は之れを考慮し置かざるべからず

- 一、民國四年五月二十五日の日文覺書及條約の廢除
- 二、租借地の還附
- 三、勢力範圍の撤廢
- 四、外國駐屯兵の撤退
- 五、租界の廢止
- 六、關稅の自由(厘金稅の廢止)
- 七、外國郵便局及有線無線電信等の郵便機關の取消
- 八、獨占的又は優先的意味を含有する經濟條約の修正

▲共同管理問題 極東及び太平洋の永久の平和を防止せんとせば列國が領土の野心を拋棄せんと、支那を自由平等の地位に置くにあらざることを俟たざるが、若し會議に於て支那を獨立の能力なき國と認め、共同管理を主張するものあらば支那は、之れに對し如何なる豫防方法を講ずべきかに對し亦豫め考究し置くの要あり、其他代表者の派遣につきは、會議の席上、議論の一致を見るべく南北に異見なきやう、全國代表として資格を有する者の選派を必要とすべし

●太平洋會議日程問題

太平洋會議準備の項目に於て太平洋會議日程に及びしが、更に詳しう云はんか、先づ日程なるものとして米國公使より支那政府に交付せられたるものは左の如し

米公使の外交使に照會せし文に曰く華府會議は代理公使より八月三日米大統領の文を貴政府に送られ、茲に米政府は太平洋及極東問題會議の議事日程を試擬の提商と爲すこと左の如し

一、支那に關する各問題、第一は適用すべき各原則、第二は其適用の項目

(甲)領土上の完整(行政上の完整)

(乙)門戶開放商務及實業機會均等

(丙)讓與權利及經濟上の優先特權(戊)各鐵道的發展東支鐵道計畫に關係すること連同して内に在り

(己)優待的鐵道運賃實現に有せる各種條約の法律上の地位

二、西比利亞、分節相同じ

三、委任統治各島、若し各問題未だ期を先んじて解決せざれば各種條約の法律上の地位項下に入る、深く機會あり以て各項未決問題の將來發生すべき權利要求の各種條約の性質及び範圍を討論するを得、を期す、

此日程に就き駐米施公使より入電あり、十四日の北京輿論を動かして、政府部内の二三は支那は已に侮辱されたり、宜しく太平洋會議を脱退すべしと主張するものあり、當地の輿論亦激昂し神州日報、新申報亦太平洋會議の大危機と爲し、支那の地位は西比利亞及委任統治國の位置に列せらるゝと云ひ、中華新報は山東東直接交渉を主張し來りし關係上、直交反對者に一矢を酬ひ、米國の恃むべからず、東方の事は東方人を以て料すべく、日程問題に悲觀する其心を悲しむと云へり、然れども

●武宜兵變善後諭示

湖北武昌軍事兵變は兩度にして而かも兩度とも外人に損害を與へ、宜昌支那商人すら起つて武人の駐在を否認し租界を請願するに至りしが、列國は由來此事に關し協議し、嚴重な交渉を申込みたるが、政府も顧みる所あり、本月十四日總統の諭示を出せり、總統の諭を奉ず、外交部は報告によれば公使團首席團公使の生命財產も時に危險の慮あるを以て支那政府に向つて若し外國居留民の利益が損失を受ければ各該官級軍官をして責任を擔負せしむること、聲明すと通告する趣きにて責言嚴重之を閱して填抱す今後該管長官等に責成し教導約束を妥爲せしめ再び變亂の情事あるを得ざらしめ内は民衆を安んじ外は人言を免か此大の嚴諭を経たる後もし再び事故を滋生せば定めて惟だ該長官を是問ふと

三井銀行

本店 東京

支店 東京、横濱、大阪、神戶、名古屋、京都、福岡、門司、若松、長崎、小倉、北九州、大分、熊本、鹿兒島、那覇、上海、香港、天津、北京、漢口、廣州、汕頭、廈門、福州、寧波、溫州、杭州、蘇州、無錫、常州、鎮江、揚州、南通、蕪湖、安慶、九江、南昌、長沙、衡陽、桂林、柳州、貴陽、昆明、重慶、成都、西安、蘭州、迪化、烏魯木齊、拉薩、台北、基隆、台中、台南、高雄、新竹、嘉義、屏東、花蓮、台東、澎湖、金門、馬祖。

資本金 七千萬圓

諸積立金 一千八百萬圓

(内拂込四千萬圓)

本店 大阪

支店 東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戶、兵庫、尾道、新居濱、廣島、柳井、下關、門司、若松、博多、小倉、久留米、布津、桑港、孟買、上海、香港、天津、北京、漢口、廣州、汕頭、廈門、福州、寧波、溫州、杭州、蘇州、無錫、常州、鎮江、揚州、南通、蕪湖、安慶、九江、南昌、長沙、衡陽、桂林、柳州、貴陽、昆明、重慶、成都、西安、蘭州、迪化、烏魯木齊、拉薩、台北、基隆、台中、台南、高雄、新竹、嘉義、屏東、花蓮、台東、澎湖、金門、馬祖。

住友銀行

本店 東京

支店 東京、横濱、大阪、神戶、名古屋、京都、福岡、門司、若松、長崎、小倉、北九州、大分、熊本、鹿兒島、那覇、上海、香港、天津、北京、漢口、廣州、汕頭、廈門、福州、寧波、溫州、杭州、蘇州、無錫、常州、鎮江、揚州、南通、蕪湖、安慶、九江、南昌、長沙、衡陽、桂林、柳州、貴陽、昆明、重慶、成都、西安、蘭州、迪化、烏魯木齊、拉薩、台北、基隆、台中、台南、高雄、新竹、嘉義、屏東、花蓮、台東、澎湖、金門、馬祖。

資本金 七千萬圓

諸積立金 一千八百萬圓

(内拂込四千萬圓)

本店 大阪

支店 東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戶、兵庫、尾道、新居濱、廣島、柳井、下關、門司、若松、博多、小倉、久留米、布津、桑港、孟買、上海、香港、天津、北京、漢口、廣州、汕頭、廈門、福州、寧波、溫州、杭州、蘇州、無錫、常州、鎮江、揚州、南通、蕪湖、安慶、九江、南昌、長沙、衡陽、桂林、柳州、貴陽、昆明、重慶、成都、西安、蘭州、迪化、烏魯木齊、拉薩、台北、基隆、台中、台南、高雄、新竹、嘉義、屏東、花蓮、台東、澎湖、金門、馬祖。

上海報界的過去及現在 (四)

直派と政學會と安福と益友

▼四月十二日王士珍の入京を機として、入京し徐世昌と長時間の談話を試み、要は河南吳光新の問題や、王士珍靳雲鵬、趙爾巽、姜桂題、三總長の軋々をこねるに對する調停周旋、張錫鑾等であつた、此會議の結果張錫鑾が奉天に赴いた爲め、たらし、九日徐樹錚が庫倫に行く色々な説があつて此中復辟計畫の爲めになつたのは、段が一時期目標を定めたとあつたが、實は段派に對する直派が張作霖に向つて積極的後援をであつたことと推せられた。

▼政學會と直派、安福系と益友、分かれたのである。即ち八省同盟を活動して、段派に對する劃策を充分に分されたが、雲南軍閥から廣東舊黨固にするに在つたかつたのである。官僚と政客は如上によりて明白に二分されたのである。即ち八省同盟を活動して、段派に對する劃策を充分に分されたが、雲南軍閥から廣東舊黨固にするに在つたかつたのである。

ラモントの來支

▼新銀團米國代表ラモントは三月三十日上海に着したが、這是支那全般に對し、大喧囂物となつた。先づ北京大學の學生は和議を圍りつゝ、此際、大借款は阻止せねばならぬと決し、南方軍政府も亦反對し、南北統一成らざる以前に借款するものではないと上海に於ては全國各界聯合會、民國學生聯合會、上海各界聯合會、團集するに、此際借款を成立せしむるはやがて南北武人に投資するに等しいと、此借款の成立を歓迎し、中華新報や民黨の正報や極力反對した。甚だしき民黨某は唐紹儀が和議の代表に任せられては唯一の目的は、大借款の北七、三の分配に在り、吾人は分黨和會と名づけ、果してラモント來りて彼は意氣昂然と罵つたのである、斯様な聲の中にラモントは上海を過ぐし、デリー、ニューヨークに借款を生産に對することが目的で支那の富源を開拓して支那を有利ならしめんとするものに外ならない旨を書し、四月九日北京に乘込みたが、潘復に對し、日本の滿蒙除外抗議の内容を洩らしたりと傳へたが、ラ氏は英米協會の招宴に赴き、支那の政治に關係せる新銀團でないこと、支那の建設を助くるものであること、支那に於ける形勢に關し、意見を述べ、十二日徐世昌に面し、新銀團の目的を談じ、徐は借款の占と財政監督等支那の希望したことを、或電報は新借款の目的は實は支那鐵道の共同管理に在り、支那の運貨物を合し、金融を確立するものであると報じ、安福系は殊に反對し、周自齊とか煙酒借款に關係し、徐恩元とか張錫鑾とか兎も角親米派は錦玉に擧げられたものである。

▼右ラモント氏の入京に就き、北京晨報は、新銀團の難關に二ある、第一難關は日本の滿蒙除外の要求を放棄せしむるに在り、第二難關は支那を納得せしむるに在り、第一難關を通過せしめて借款を許すならば對米の好感は一變して惡感となる云々、其他各報も大同小異を大に攻撃したものである、然るに梁士詒一派舊交通系と研究系は暗に提携して勢力範圍打破及鐵道統一を唯一の表看板として、右借款の成立を歓迎し、極力運動し、ありとあらゆる報が來たウエルサイユ會議の時此派は已に此計畫があつたので、少からず支那の留意を招いたものであるが、煙酒借款と利害關係ある上海煙酒業者は、四月十九日ラモントの來支を幸いとして預ての儲蓄を洩らすべく、北京政府に對して激烈なる電報を送り、ラ氏に對しては借款するならば、商人を相手にすべく、政府と相手すべからざる旨打電した。

▼ラ氏去るにのみぞ上海デリー、ニューヨークは日本に對し嫌味を列ら、支那政府は日本から百萬元借りて舊年末を過ぎしたが、又日本に向つて借款の望みがあるから、ラ氏に借款を議せなかつたのは當然である、クレゾール氏來支は借款計りでない、其目的は銀團中の四分子と融和するに在る若し此の如くならざれば借款せざるのみと云つた。

り、保定會議が開かれ、甘肅、熱河、察哈爾も加担したから、直派は已に從來の八省同盟が十一省同盟になつたと傳へ、舊議員中には王揖唐と唐紹儀が吳いて、王唐密訂の和議條約なるものを曝露するとか、安派の機關報は研究會は、直派と西南岑國の聯絡を素破技とか、愈下卑劣論難攻撃が現はる様になつたのである、其趣意に二十一日に至り孫文、唐紹儀、伍廷芳は孫宅に於て、軍政府を別に組織することとなり、之を雲南に閉くことと決すに至つて、愈々政學會非政學會派は分裂する様になつたのである。

營業種目

鋼及真鍮板、管、棒、線
鋼鐵管、釘、鉄及鐵線
各種被覆絕緣電線、電纜
鑄鋼品、鍛鋼品並諸機械
鑄山用各種機械器具
人造肥料並硫酸、硝炭
石炭

住友實業上海洋行
上海九江路五號
電話 營業室 中四六二
夜間 用 中三五六
支店 上海火災保險株式會社代理店

品質精撰
醫療用藥品
醫療用器械
醫療用繃帶材料
理化學用藥品
工業用藥品
玻璃藥瓶各種
諸大家賣藥各種
美容化粧品各種
廉價販賣

濟生堂大藥房
諸大藥房
調劑處
御醫處
方藥處
藥房



支那法律と禮

敬庵

神意説

神意に依るものなりとなす、セハメツト山中に隠れ、自から神使ブカリナと稱し、賜ふに法律を以てし、名づけてコーラン經典と云ふ。リコルゴスは自からアポロの神に...

するに、支那の禮は天地を繼ぎ陰陽を禮とす、既に天地と訴合す、則ち禮と相表裏をするの法律も、亦之に...

人倫を立つる所以なり、情性を正しうして萬物を節する者也、人性男女の情あり、忌妒の別あり、爲めに昏...

心治則氣順、心亂則氣逆、心治則交讓、心亂則交爭、讓は則ち徳あり、争は則ち賊を生ず、又曰く、清静平和、人之性也、禮表...

禮運の言に曰く、夫禮達於喪祭射冠昏朝聘故に之を失するもの死すれば、之を得るもの生ず、其の存する所に處し...

共同生活説此の説は法律を以て人類共同生活の一部となす、英國のボロック曰く、法律は、人類共同の生活を指示するものなり、と...

印刷、製本及紙器製造
Shanghai Press, Ltd.
社 會 式 株 刷 印 海 上
號三十路而克司・司・路
〇二五九六二北話電

機械、材料、文房具販賣
堀井騰寫堂
上海河南路七七、七八
電話(中央)參貳〇

日種業營
堀井騰寫堂
印刷、文房具、文具、印刷機械、製品、車輛、金庫、紙、藥品、穀雜、肥料、礬石

雜報

●**刁作謙の談話**
▲太平洋會議に就て▼
新任玖馬公使刁作謙は十四日朝北

北代表は唯だ其の私人の意見を代

上海工商友誼會は上海總商會等九團體の組織せる太平洋會議は協會公開聯合總會に書面を寄せて上海各團體を召集して一聯席會議を開かんことを促したるが學生聯合會は之に賛成し十三日理事會一委員會を代表として上海工商友誼會總務委員董理璋と會見せし進行方法を籌備せしめ並びに期日を定め各公開及び各馬路商界聯合會に通告して聯席會議を開き以て一致して民國の太平洋會議に對する意見を表示することに決せり

● 江蘇省議士と太平洋會議

江蘇省議會議員張孝若等數十數名は聯名を以て各省議會聯合會對し數名は太平洋會議には支那は代表六人を派遣するに雖も外交の能事を盡すとして個々英國日本の政治家は紛々として個人の能力を以て渡米し運動して祖國の勝利を謀りつゝあり國民外交の精神を見るに足る故に我國は各省議會及び各公開聯合して各々其省の外交才能を具有する政治家數人を公舉し代表に隨行せしめ其の旅費は地方より供給せるは唯に我國政府の補助たるのみならず且つ個人の活動を以て各國政治家と感情を聯絡し意見を交換し我國國家に有益なとし云へり

公使の覺書全文

10

務部に出願すべきものなりて上海
縣知事に指示すべく指示したり

上海稅關の改築

上海稅關は近頃事務繁多なり現
在の建物にては狹隘を感ずるに至り
たるより今回増築し稅關碼頭の建物
も改築することとなり目下設計中な
り

大水後の津浦鐵道

津浦鐵道は大水後軌道の修繕は終
り客車は平常通り運轉を始めたも
數ヶ所に小修理中のものある爲其の
個所は徐行するを以て天津を發し浦
口に著する時は三時間は何れ通車
客は江を渡りて滬甯鐵道特別列車
間に合はざり其後修理は殆ど完
了したるを以て昨日浦口着列車は一
時間後れたるに過ぎず聯絡の滬甯鐵
道特等列車も南京江邊にて待ち合せ
上海に着せる時は僅か四十余分後れ
たるのみなり

七省漁業公司の内容

海軍部は七省漁業を抵當として日
本より借款せんとし各方面はこれに
反對したるが上海漁業公所が前晚大
北農商部より得たる電報によれば借
款の事は部中は均しく與聞せず海軍
部も亦た一人が主張せるに過ぎず
して今や已に擱置されたり而して往
年已に成立せる漁業公司の範圍を擴
張し資本を増加し政府と七省の漁業
領海とにて七省の漁業公司を組織し
資本金を一千万圓とし海外及内河
の兩大區に劃分し農商、財政兩部の
主管に歸し海軍をして保護せしむ今
主本公司に先づ捕魚船大小二十隻を
設け南米及び英日にて用ゆる極新の
捕魚法を用ひ著手試験し若し果して
有効なれば逐步推廣すし上海は海
港適中の地なれば必らず辦事機關を
設くべしと云へり

蘇州河の開浚

蘇州河の梵王渡以來の一段は泥土
堆積し水利交通に阻礙ある爲吳淞
局水利局にては開浚中なりしが本年
六月間小沙渡より又袋角に至る支那

里余の工事を竣へたるを以て水利局
長は上海紳士等多數と共に同處を檢
査したり開浚せる深さは八尺内外に
達し六ヶ處五六丈切り取りたる爲
船舶の往來は頗る自由となり

韓恢の行蹤

黨人韓恢は前に江北泗陽等の各地
にて土匪と勾結し地方を擾し居た
が津浦後江蘇督軍は上海軍警各機關
に其の逮捕方を通告し居たるに韓恢
は前日江北より上海に來り某租界に
あり近日廣東に赴き孫逸仙と一切を
接洽すといふ

湖北人の直軍掃蕩要求

上海の改造湖北同志會は四川軍に
對し極力湖北の直轄軍掃蕩に力めん
ことを要求する電報を發し又た廣東
國會に對し廣東當局を促し速かに兵
を出し師を武漢に會し北京を直轄
内は全國統一の功を收め外は列強會
議の召に應ずるやう努められたるこ
の電報を發せり

黨人を租界に入れず

松滬河護軍使は前に各處より來滬
の黨人が毎に租界を藉りて護符と
する爲め調査偵緝に甚だしく掣肘さ
るゝを以て首席領事に對し租界内に
住居せしめざるやう要求したるが領
事會議議にて支那の要求を容れ今後
は黨人の租界に住居する者は均しく
驅逐することに決し此の七日何護軍
使に回答したり

豆類輸出の運貨交渉

上海某輸出會社の防盜員他豆類
約三四千噸を米國に輸出せんとす日
本汽船會社に交渉中なりが同汽船會
社の加入せる太平洋運輸會社にて定
めたる運賃は一噸米貨十二弗なるに
某輸出會社は一噸を米貨八弗に引下
げんことを要求し同汽船會社は之を
承諾することとなり目下運輸會社々
長に各會員間に此の事に就き疏通す
るやう依頼し居れり

金融市況

自前九月九日
至前九月廿日
外國爲替

金銀 倫敦 紐約 上海 香港
五萬兩 三萬兩 二萬兩 一萬兩
三萬兩 二萬兩 一萬兩 五千兩
二萬兩 一萬兩 五千兩 二千兩
一萬兩 五千兩 二千兩 一千兩
五千兩 二千兩 一千兩 五百兩
二千兩 一千兩 五百兩 二百兩
一千兩 五百兩 二百兩 一百兩
五百兩 二百兩 一百兩 五十兩
二百兩 一百兩 五十兩 二十兩
一百兩 五十兩 二十兩 十兩
五十兩 二十兩 十兩 五兩
二十兩 十兩 五兩 二兩
十兩 五兩 二兩 一兩
五兩 二兩 一兩 半兩
二兩 一兩 半兩 四角
一兩 半兩 四角 二角
半兩 四角 二角 一角
四角 二角 一角 半角
二角 一角 半角 四厘
一角 半角 四厘 二厘
半角 四厘 二厘 一厘
四厘 二厘 一厘 半厘
二厘 一厘 半厘 四毫
一厘 半厘 四毫 二毫
半厘 四毫 二毫 一毫
四毫 二毫 一毫 半毫
二毫 一毫 半毫 四絲
一毫 半毫 四絲 二絲
半毫 四絲 二絲 一絲
四絲 二絲 一絲 半絲
二絲 一絲 半絲 四忽
一絲 半絲 四忽 二忽
半絲 四忽 二忽 一忽
四忽 二忽 一忽 半忽
二忽 一忽 半忽 四微
一忽 半忽 四微 二微
半忽 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖 半纖
二纖 一纖 半纖 四沙
一纖 半纖 四沙 二沙
半纖 四沙 二沙 一沙
四沙 二沙 一沙 半沙
二沙 一沙 半沙 四渺
一沙 半沙 四渺 二渺
半沙 四渺 二渺 一渺
四渺 二渺 一渺 半渺
二渺 一渺 半渺 四微
一渺 半渺 四微 二微
半渺 四微 二微 一微
四微 二微 一微 半微
二微 一微 半微 四纖
一微 半微 四纖 二纖
半微 四纖 二纖 一纖
四纖 二纖 一纖

日華紡織株式會社

事務所上海四川路五五號

電話中四二五九

場中二四九

東

電話中一五九七

勞物生路建築工場

電話國一九六七



申
會社 合資
上海江西路五號
電話三〇〇九

海
運業
船代理
并賣買仲立
一般輸出入

營業科目

東華紡績株式會社

事務所上海漢口路A九號

工場上海華德路八號

電話東三五四番

線通交捷最絡聯亞東

○大連長春間普通列車

大連發前 一〇〇〇 翌前六、三〇〇 長春着
長春發前 一〇〇〇 翌前六、四〇〇 大連着

○大連開原間普通列車

大連發前 八〇〇 翌一、〇〇 開原着
開原發前 八〇〇 翌一、〇〇 大連着

○大石橋長春間普通列車

大石橋發前 七四五 翌一、〇〇 長春着
長春發前 七三〇 翌一、〇〇 大石橋着

○奉天安東間普通列車

奉天發前 八、三〇 翌一、〇〇 安東着
安東發前 八、三〇 翌一、〇〇 奉天着

○大連長春間急行列車

大連發前 一〇〇〇 翌一、〇〇 長春着
長春發前 五〇〇 翌前八、〇〇 大連着

○滿鮮直通列車(釜山奉天間)

釜山發前 二、〇〇 安東着 翌前八、五〇 奉天着 翌前六、〇〇
奉天發前 八、三〇 安東着 翌前五、一〇 釜山着 翌前六、四〇

○鐵道旅館

滿洲線 大和ホテル
大連、星ヶ浦、旅順、奉天、長春
朝鮮線
京城、新義洲、釜山
(設備歐米式食物精選)

○大連上海航路

御用船 長九
往復共青島ニ寄港ス
三、八七六(船内無線電信設備アリ)
二、〇〇〇也

○營業種目

鐵道業、船舶業、港灣業、鑛山業、工業、製鐵業、電氣業、
瓦叫業、旅館業

南滿洲鐵道株式會社

本社大連市東公園町
支社東京市麴町區有樂町
支店及出張所、紐育、上海、北京、
哈爾濱、吉林
振替貯金(大連二一九番)
電報略號(マンテツク)

フリヤント電球
電燈工事設計器具材料賣
電氣設備機器器具材料賣
博利安電料公司
上海英大馬路博利安
電話中央四〇七

消化と
春
活動に仁丹
食後に仁丹
煙草に仁丹
最も大なる動機の
後に最も大なる快
楽あり

南洋兄弟煙草公司
辛酉公司
中和工廠事務所
電話三三三三
工場上海英大馬路三三三三
電話西一八二七

本紙定價(前金)
一、金十五錢
二、金十錢
三、金八錢
四、金六錢
五、金四錢
六、金三錢
七、金二錢
八、金一錢
九、金半錢
十、金半錢
本紙發行所
上海英大馬路
電話三三三三
電話西一八二七

北華銀行
上海英大馬路
電話三三三三
電話西一八二七

國產獎勵
特約店
松尾洋行
山口商店
電話北四九五番